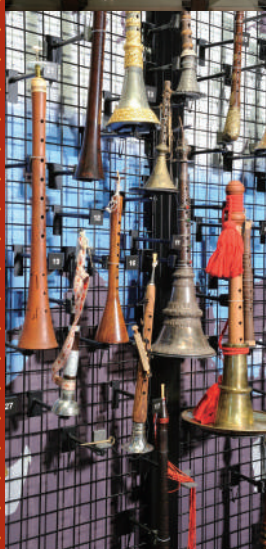




みんぱく つかう・学ぶ・みんなぱく

授業の教材に、
課外授業に、
研究の参考に、
論文執筆に。

大学生・教員のための
みんぱく活用
研究者が世界各地で調査した
研究成果や収集した資料を
大学の授業などで
ご利用いただけます。





国立民族学博物館（みんぱく）は、博物館機能をそなえ、大学院教育も担う世界でもユニークな文化人類学・民族学の研究所です。みんぱくに所属する研究者たちは、世界各国でフィールドワークをおこない、人びとの生活や文化、価値観について研究調査しています。現在、当館には、約34万5千点以上の標本資料のほか、約7万点の映像・音響資料、約69万点の文献図書資料が収蔵されています。研究者の研究成果や展示物、収蔵資料、情報、施設などを、大学での授業や研究に広く活用していただくことができます。

豊富なみんぱく活用コンテンツ ●来館してできること ■来館しなくてもできること



●授業での展示場利用

約1万2千点の資料を展示場で体感。事前に申請手続きをすれば、観覧料無料で見学できます。



●図書室の利用

文化人類学・民族学を中心とした文献図書資料が約69万点。外国語文献も充実しています。



●■標本資料の利用

授業や研究で、みんぱくが収蔵する標本資料の調査や撮影、画像の利用ができます。



■「みんぱく」の利用

「みんぱく」とは、世界の民族衣装や生活道具等と、それらにまつわる情報や解説がパックされた貸出用学習キットです。



●■映像・音響資料の利用

世界各地の映像・音響資料が約7万点。一部の資料はストリーミング配信での貸出も可能です。



■データベースの利用

収蔵資料や、研究資料・成果の膨大な情報が自由に検索できます。



●催しへの参加

最新の研究成果や展示の解説など、研究者の生の声が聞けます。定期的な催しも開催しています。



若手研究者の育成

大学院教育や研究員制度など、若手研究者を支援するさまざまな取り組みを実施しています。

活用までの流れ みんぱくの豊富なコンテンツを、3つのステップで活用いただけます。

STEP 1

ホームページにアクセス

国立民族学博物館トップページ

→学校教育→大学生・教員のためのみんぱく活用

STEP 2

各活用コンテンツの詳細を確認

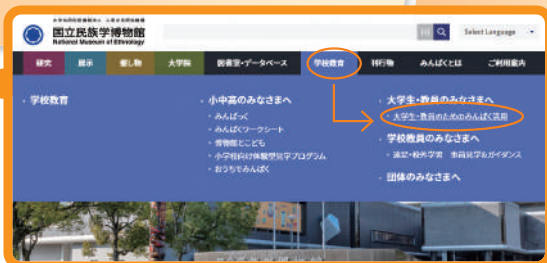
活用のしかたは自由

(一部、事前申請が必要なものがあります)

STEP 3

活用

みんぱくを活用して、さらに魅力的な授業や研究に



活用方法の詳細は

ホームページにてご案内しています

<https://www.minpaku.ac.jp/teacher/university/manual>



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

ご来館のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。事前にホームページでご確認ください。

- 開館時間…………… 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日…………… 水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

交通のご案内

- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩 約15分
- バス…………… 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩 約13分
- 乗用車…………… 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩 約5分

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。

※高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。

※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

- 観覧料…………… 一般 580円／大学生 250円／高校生以下 無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10番1号

企画課 博物館事業係

Tel:06-6878-8210 Fax:06-6878-8242

<https://www.minpaku.ac.jp/>

